



木漏れ日の温かさ

施設長 小川内秀樹

冬らしい冷たい空気に身を包まれる毎日となりました。季節感をとっても感じます。つい先日まで木々の紅葉を楽しみましたが、今は冬の落陽が心に灯火を著けてくれるようです。特養のお年寄りのお誕生会は、昼ごはん前に行われます。これまでは、ご家族と共に祝いしていましたが、今年は、感染対策で一緒にできないのが残念です。ですが、ヘルパーさんたちが和みの時間を作ってくれていますので、安心して下さい。

リビングでお年寄りが集まって、お誕生者をお祝いする時の雰囲気は、とても優しいです。どんなに認知症が進んでいても、注目してくれ、歌を歌ってくれ、話や祈りを聞いてくれる。ほんのひと時の出来事ですが、特養入居者の方々の人間味や、お年寄りの温かさが伝わってきます。今年も、一年の大半を、未知の領域に挑んで、耐えてきた道でした。人生の計画がままならない霧の中の歩みです。大変な事もありますが、そんな中でも、特養のお年寄りの方たちと一緒にいると、体全体に、生きる力を与えてくれるような木漏れ日の光を感じます。

十一月のボランティア

※他ボランティア様の受け入れは、感染対策の為 受け入れを中止しております。

ぶどうの木出張販売

虹の架け橋ヘルパー 阿部 愛

パン工房ハレルヤ出張販売にて出来立てのパンをご利用者に選んで頂き、午後には召し上がって頂きました。出来立てもあり、パンの甘い香りが漂い、真剣な表情で選んでおりました。利用者K様は、一つでなく、二つ、三つと買おうとされておりましたが、アンプンに絞られ、美味しく召し上がって頂きました。冬の寒い時期でも心温まるひと時となりました。コロナウイルスにより毎年の行事が進行されない中でもほっこりとする一日となりました。これからも利用したいと思えます。



いい香りです。

どれにしようかなあ？

新職員紹介

ヘルパー 藤井 京子

いつの日か就きたいと思っていた仕事です。全力投球で頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



令和三年一月一日、新しい年を迎える日に元旦礼拝があります。

令和三年一月一日〜三日まで正月レクを予定しております。

今年も残り僅かとなりました。来年も宜しくお願ひ申し上げます



【編集後記】 寒くなって来ましたが、短時間でも換気を忘れず、空気をリフレッシュしましょう！

ほほえみ担当 神山・古谷夏

相談員日誌

宮本真次

「雨垂れ石を穿つ」 日を追うごとに顕在化する新型コロナウィルスの私達への影響は未だ計り知れない。いつ終息するか全く分からない先の見えないうストレス。それに因り行動が制限されるストレス。ストレスと共に、得体の知れないウィルスへの恐怖は増幅する一方である。

日々、停滞感や閉塞感に苛まれる生活を余儀なくされている。「雨垂れ石を穿つ」軒下の雨の一滴でも長い間同じ所に落ち続けられ、ついには硬い石に穴を開ける。たとえ弱く小さな力しかなくても、長く根気強くコツコツと努力を重ね続けられれば、やがて大きな成果を成し遂げられる。うがい、手洗い、マスク、ソーシャルディスタンス：凡事徹底。大きな突破口を穿ち、停滞感や閉塞感から脱却出来るその時まで、共に乗り越えていきたいと思います。



栗崎 勝三様の紹介 栗崎 あゆみ様(長女)

私の父は、昭和三十七年七月二十八日に常総市にて誕生しました。高校卒業後は、地元の製菓工場勤務しておりました。父は、婿養子として結婚し、子室にも恵まれました。家族を支える為、工場で一生懸命に働いていました。五十代で認知症になってしまいました。働く事が困難になってしまいました。筑波キングス・ガーデンのデイサービス利用を始め、その後ショートステイを利用しました。平成三十一年一月に特養へ入所しました。日中は、部屋で休むことがありますが、テレビを観て過ごす事が多いです。家族と会えると嬉しさもあり、声を出して笑ってくれます。そんな父が大好きです。これからも穏やかな毎日を過ごせますように願っております。

(NO389) 特別養護老人ホーム 筑波キングス・ガーデン 0297(24)5139

これは、主が設けられた日である。この日を楽しみ喜ぼう。

詩篇118編24節



ホームページ

ケーキカフェ

虹の架け橋ヘルパー 梶倉節代

今月のケーキカフェは、クリスマスパーティー用でした。サンタやトナカイで飾られたピンクやグリーン系の鮮やかなもので、少し早めのクリスマスケーキを楽しみました。T様は、特養入所してから二か月程たちましたが、初めて満面の笑顔を見せて下さいました。世界中で大変な事態になっている中ではありますが、少しでも穏やかな時間を持つた事に感謝致します。

可愛いサンタケーキ召し上がれ!



甘くて美味しい〜

十二月の誕生者

- 川田あさ様 九十四歳
- 石塚やい様 九十二歳
- 関口とみ様 九十六歳
- 中島泰江様 七十四歳
- 宇佐神久美子様 七十一歳



一年間、守られて感謝

理事長兼総合施設長 宇都宮和子

2020年も残り僅か、この常総市にも自粛要請が出ており緊張の日々が続いています。その中であって、福祉の現場で働くスタッフはウイルスに罹らないよう、慎重に忍耐をもって生活を送っていると思います。特に特養のご利用者さん権限と命に関わるので、職員はマスク、手洗い、消毒と慎重です。この厳しさの中でご利用者さんの健康が守られている事は本当に感謝です。その反面、面会が自由に出来ず、ご家族やご利用者さんも寂しい思いをされていると思いますが、スタッフはご利用者さんの笑顔に支えられています。

今年は何故かキングス・ガーデン周辺の銀杏の木がとても美しく色付き、素敵な風景が見られます。今はその黄色い落ち葉を踏みしめながら、障がい者のご利用者さんが楽しんでお散歩しています。自然の恵みには勇気を頂きます。玄関にはクリスマスツリーも飾られ、少しずつ施設の中も明るくなりました。大変なことがあっても折りと感謝を忘れず前進です。

「神は、どのような苦しみの際にも、わたしたちを慰めてくださいます」(第二コリント一章四節)